

令和7年度 **体育科**推薦入学者選抜募集要項

鹿児島県立鹿児島南高等学校

優れた資質と確固たる目的意識をもった生徒の入学を推進し、個性の伸長を図るとともに、時代に対応できる人材を育成し、地域社会の期待に応えられる特色ある学校・学科の創造を目指す。

1 推薦入学者数

募集定員40名の100分の80以内(32人以内)
学校推薦及び自己推薦あわせて上記のとおりとする。

2 募集種目

令和7年度は、本校入学後、以下の種目のいずれかを専門とする者を募集する。

〔I群〕 フェンシング (男・女)、水球 (男)

〔II群〕 陸上競技 (男・女)、ハンドボール (女)、バレーボール (女)、柔道 (女)、サッカー (男)

(推薦書応募種目の欄に記入のこと)

3 出願資格及び推薦基準

(1) 学校推薦方式

令和7年3月、本県の中学校、義務教育学校の後期課程又は特別支援学校の中学部(以下「中学校等」という。)を卒業し、又は修了する見込みの者で、次の各項のいずれにも該当し、在学する中学校等の校長(以下「中学校長」という。)が推薦する者とする。

ア 人物が優れ、健全な学校生活を送っている者

イ 本校体育科への入学を強く希望し、その理由が明白かつ適切である者

ウ 体育科教育に対する適性及び興味・関心を有する者

エ 基礎運動能力及び特技とする運動種目に優れ、特に顕著な実績があり、入学後も継続して活動していく意思を有する者

オ 入学することを確約できる者

(2) 自己推薦方式

出願資格は、次のアからウのいずれか及びエに該当する者とする。

ア 令和7年3月に中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部(以下「中学校等」という。)を卒業し、又は修了(以下「卒業」と総称する。)する見込みの者

イ 中学校等を卒業した者

ウ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第95条に該当する者

エ 3(1)イからオに加え、本校が定めるアドミッション・ポリシーの要件を満たす者

4 出願期間

令和7年1月21日(火)から1月27日(月)正午(必着)までとする。

受付時間は、締切日を除き、平日の午前8時30分から午後4時30分までとするので、留意すること。

5 出願手続

(1) 推薦入学志願者は、本校の定める「推薦入学願書」、「受検票」及び「志望理由書」等に必要事項を記入し、入学検定料として入学願書の指定位置に2,200円分の鹿児島県の収入証紙を貼付し、中学校長に提出する。なお、東日本大震災・熊本地震・能登半島地震の被災地域の者は、入学検定料を免除する。

(2) 中学校長は、推薦入学志願に必要な次の書類を本校校長に提出する。

なお、郵送にて出願する場合は、受検票返信用の封筒(長3号、切手貼付、宛名明記)を同封のこと。

ア 推薦入学願書・・・本校所定のもの

イ 写真・・・正面向きで、上半身無帽のもの1枚(白黒、カラーのどちらでも可)を「受検票」に貼付する。大きさは縦4cm、横3cmとする。

ウ 推薦書等・・・(※)は本校所定のもの

学校推薦方式	①推薦書(※)
自己推薦方式	①自己推薦書(※) ②競技成績一覧表(※)及び添付資料

エ 志望理由書・・・本校所定のもの(志願者本人自筆のもの)

オ 調査書・・・本県教育委員会で定めたもの(様式4-1)

カ 推薦入学者選抜出願者総括表・・・本県教育委員会で定めたもの(様式2-2)

(3) 提出書類に虚偽の記載等があることが判明したときは、入学許可後であっても入学を取り消すことがある。

- (4) 中学校長は、身体的障害等のため受検上何らかの措置を必要とする入学志願者がいる場合は、(2)の書類の提出に併せて、その旨を本校校長に申し出ること。
- (5) 特別な理由等により年間の欠席日数が30日以上[※]の推薦入学志願者は、自己申告書(様式20)を中学校長を経て、本校校長に提出することができる。

6 実技検査・面接

- (1) 日 時 **令和7年2月4日(火) 午前8時50分集合**
- (2) 集合場所 本校体育館(1階剣道場)
- (3) 携行品 ア 受検票 イ 筆記用具 ウ 体育服 エ 専門技能検査用具(ユニホーム、シューズ、その他の用具) オ 体育館シューズ カ 運動靴(屋外用) キ 上履き(靴を入れる袋も準備しておくこと。)
- (4) 実技検査
- 【基礎運動能力検査選択種目】 ① 50m走 ② 立5段跳 ③ ハンドボール投
- (注) 上記①～③の中から2種目選択し実施する。入学願書に選択した種目の番号を記入すること。
- 【専門技能検査選択種目】 ① フェンシング ② 水球 ③ 陸上競技 ④ ハンドボール
- ⑤ バレーボール ⑥ 柔道 ⑦ サッカー ⑧ その他

(注1) 募集種目で〔I群〕を希望する者は、中学時までに当該種目の経験があればその種目で受検することとするが、未経験者の者は上記の③～⑧の中から1種目を選択する。ただし、「③陸上競技」「⑧その他」を選択する者は事前に本校へ中学校を通じて問い合わせること。

(注2) 募集種目で〔II群〕を希望する者は、その専門の種目を選択する。

(注3) 選択した種目を、入学願書及び推薦書の専門技能検査希望種目の欄に記入すること。用具は各自準備すること。

(注4) 荒天の場合は、一部検査種目を変更する場合がある。

7 選抜方法

選抜は、推薦書・調査書等の記録及び本校において実施する実技検査・面接の結果を総合して行う。

8 選抜結果の通知及び発表等

- (1) 選抜結果については、**令和7年2月10日(月)**に中学校長に対し、電話により連絡するとともに、「推薦入学者選抜結果通知書(様式11)」及び「推薦入学許可予定通知書(様式12)」を送付する。
- (2) 推薦入学許可予定者については、本校における入学者選抜学力検査は行わない。
- (3) 推薦入学許可予定者の合格発表は、本県公立高等学校入学者選抜における合格者として、**令和7年3月13日(木) 午前11時以後**、本校ホームページに掲載する。
- (4) 推薦入学許可予定者は、**令和7年2月13日(木)正午まで**に入学確約書(本県教育委員会で定めたもの・様式14)を本校校長宛てに提出することとし、原則として、高等学校入学者選抜学力検査を受検することはできない。
- (5) 合格者は、**令和7年3月14日(金)午後1時30分(説明開始)**に保護者を同伴し、筆記用具を持って本校体育館(3階アリーナ)に集合すること。
- (6) 選抜の結果、不合格になり、改めて本県公立高等学校入学者選抜学力検査を受検する者は次の手続による。
- ア 推薦入学者選抜の受検票を本校校長に出願期間内に提出し、改めて受検票の交付を受ける(本校、同一学科へ出願したこととする。)。入学願書、調査書の提出及び入学検定料の納入は必要としない。
- イ 本校の他学科を志願する者は、アの手続をとった上で、出願変更期間内に所定の手続【出願変更】をとるものとする。この場合、入学検定料の納入は必要としない。
- ウ 本校と異なる高等学校を志願する者は、アの手続をとった上で、出願変更期間内に所定の手続【出願変更】をとるものとする。この場合、入学検定料の納入が必要となる。

9 その他

上記のほか、詳細については「令和7年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要綱」を参照のこと。なお、不明な点については、中学校を通じて問い合わせること。